

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学DP	学科DP	学習成果
建築計画	中井 孝幸	講義	2	建築士	1,2	3	1,2,3,4
授業概要 授業目的	建築を設計・計画するにあたり、直面する様々な課題に対して、如何に取り組み課題解決を図っていくのかを学ぶことを目的とする。						
到達目標	地域の各種建築物に関する建築計画上の基礎知識を学習し、施設事例を通して計画手法や課題等を理解する。						
回	学習内容						
1	ガイダンス、図書館の計画(1)		授業の進め方、図書館の歴史				
2	図書館の計画(2)		地域のサロンとしての図書館				
3	図書館の計画(3)		図書館の施設計画				
4	学校の計画(1)		教室のオープン化				
5	学校の計画(2)		学びの場から生活の場へ				
6	演習 折紙建築		立体的なデザイン演習				
7	高齢者福祉施設の計画(1)		地域福祉と通所系施設				
8	高齢者福祉施設の計画(2)		入所系施設の小規模生活単位によるケア				
9	病院の計画(1)		診療所の計画と病院計画の基礎				
10	病院の計画(2)		病院の部門構成				
11	病院の計画(3)		病棟・病室の計画				
12	美術・博物館の計画		展示品の収集と観賞				
13	劇場の計画		演技を観る				
14	オフィスの計画		規模とレントラブル比、寸法計画				
15	試験および試験終了後に、建築計画のまとめ						
予習内容 復習内容	予習：講義の前に参考図書、配布資料等で予習を行う。 復習：講義の後に板書やスライドの内容をノートに整理する復習を行う。						
教科書	・松本直司、瀬田恵之、高井宏之、建部謙治、谷田真、中井孝幸、矢田努：建築計画学、理工図書、2013.4						
成績評価	・出席を毎回取る。遅刻厳禁。6回以上欠席した場合には評価の対象外とする。 ・筆記試験、レポート及び演習課題により、総合的に評価する。 ・小レポート15%、演習課題20%、試験65%、演習課題が未提出な者は、単位取得できない。						
実務経験	組織設計事務所での勤務経験を活かし、授業では実践的なデザインや計画について話します。						
その他 特記事項	演習課題に用いる製図道具やケント紙、模型制作の材料や用具などは各自でそろえる。						